

# Language& Cultural Competence Test

がない」とすることで、noを述語的に訳しているといえます。次に、

No pupil could answer the question.

のように、noが主語についているセンテンスを考えます。この場合にも、「生徒は誰もその質問に答えられなかった」と述語的に訳します。no以外の形容詞や副詞も同様です。

## [問題例]

[4-1] 次の英文に相応しい自然な日本語訳を選びなさい。

Smiley had no difficulty in finding a first-class compartment to himself.

- ①スマイリーが、自分のために一等のコンパートメントを見つけるという困難がなかった。
- ②スマイリーは、自分のために一等のコンパートメントを見つけるのにまったく困難があった。
- ③スマイリーが、自分のために一等のコンパートメントを見つけるのは難しくなかった。
- ④スマイリーは、自分ひとりが一等のコンパートメントを見つけるのに異議を唱えた。

[4-2] 次の日本語に対応する、できるだけ簡潔で分かりやすい英文を選択しなさい。

籠には卵がほとんどない。

- ① There are few eggs in the basket.
- ② There are a few eggs in the basket.
- ③ Only some eggs are in the basket.
- ④ There are little eggs in the basket.

## [解答]

[4-1] 正答：③

no difficulty のnoを述語のように訳します。②は日本語として正しくありません。①、④は誤訳を含みます。

[4-2] 正答：①

少ない量を表す場合に、肯定的意味と否定的意味がありますので使い分けに注意します。また、修飾する名詞が可算か不可算かにも注意します。②は肯定的意味を持ちます。③、④も意味が正しくありません。

## 5. 「否定の絡んだ比較表現の訳し方」一翻訳英文法のルール No.17

否定の絡んだ比較級の表現にはさまざまなものがあり、一般的な英文法でもいくつかは「公式化」されています。しかし翻訳をおこなう上では、さらなる工夫をすることもできます。たとえば、

We can no more change own fate than a tree can go away from where it stands.

というセンテンスを考えます。これは英文法の参考書にも公式としてよく登場する構文です。公式に従っ